



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

2019年3月期 第2四半期 の決算概要について



日精樹脂工業株式会社

2018年11月30日

2019年3月期第2四半期 業績の概要

2019年3月期第2四半期 連結経営成績



単位:百万円 ()内前期比

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 四半期純利益	1 株 当 た り 純 利 益
2019年3月期 第2四半期	20,536 (1.4%)	1,781 (2.1%)	1,848 (△2.3%)	1,404 (5.0%)	70.29円
2018年3月期 第2四半期	20,261 (12.8%)	1,745 (23.8%)	1,892 (136.7%)	1,337 (135.7%)	66.93円

売上

- ・アジア等の新興国で一部需要の減退が見られたものの、国内・北米では堅調に推移したこと等から、売上高は前年同期比1.4%増の205億3千6百万円となった。

利益

- ・営業利益は、射出成形機の売上が増加したこと等から、前年同期比2.1%増の17億8千1百万円。
- ・経常利益は18億4千8百万円(前年同期比2.3%減)、四半期純利益は14億4百万円(同5.0%増)となった。

連結売上高(セグメント別)増減 [2018/3期2Q⇒2019/3期2Q]

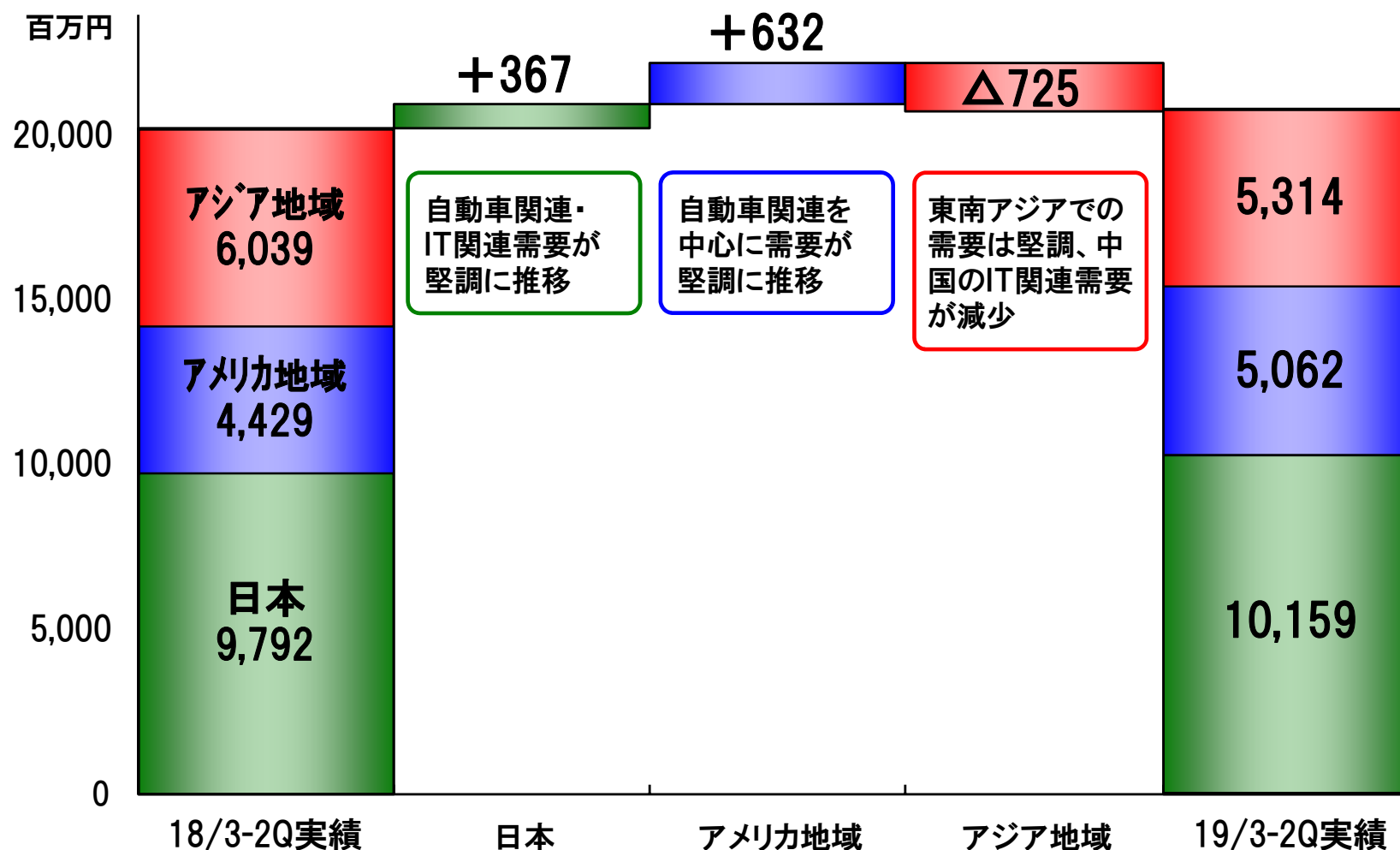


外部顧客への売上高の増減

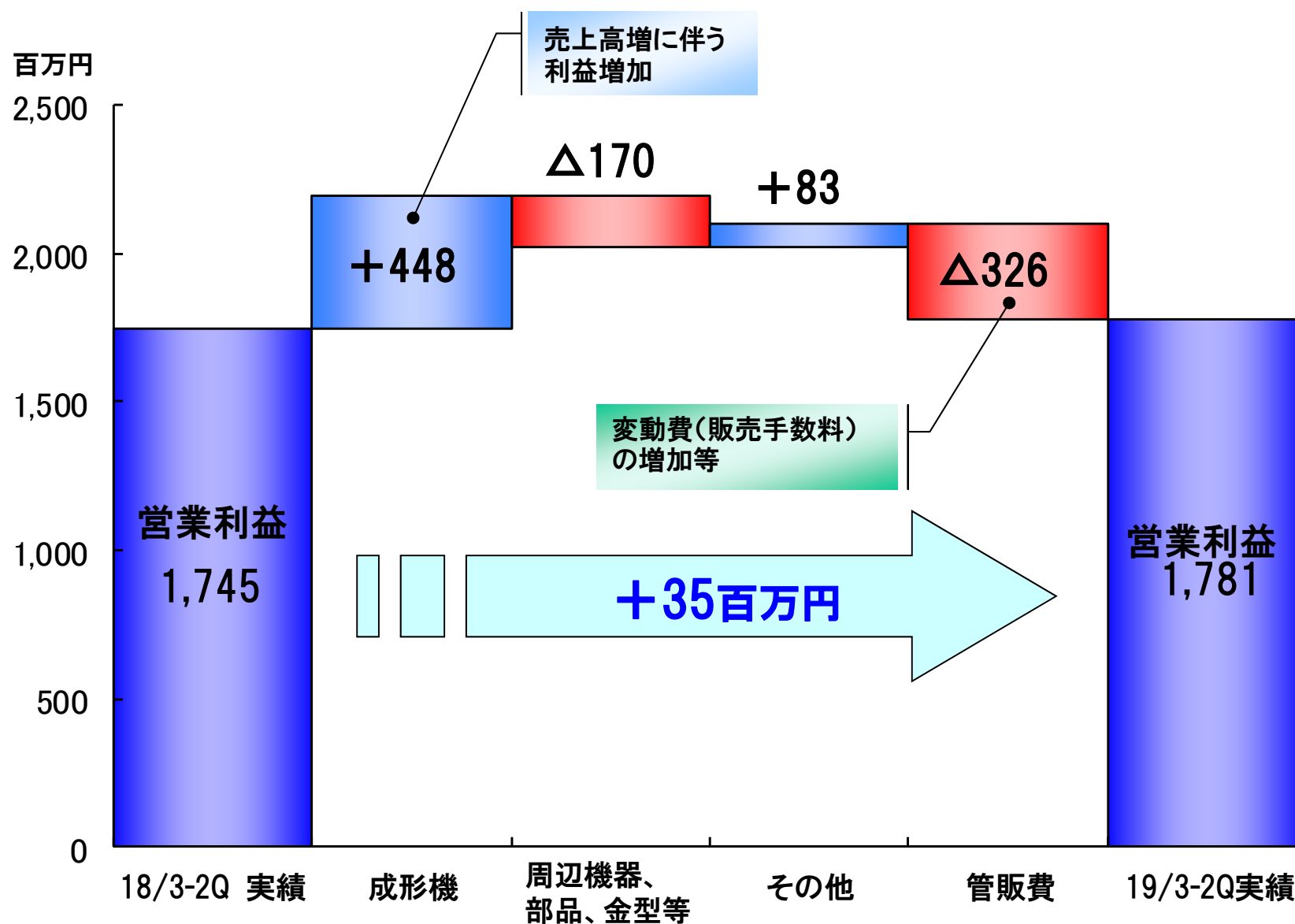
20,261

+275百万円

20,536



連結営業利益(製品別)増減 [2018/3期2Q⇒2019/3期2Q]

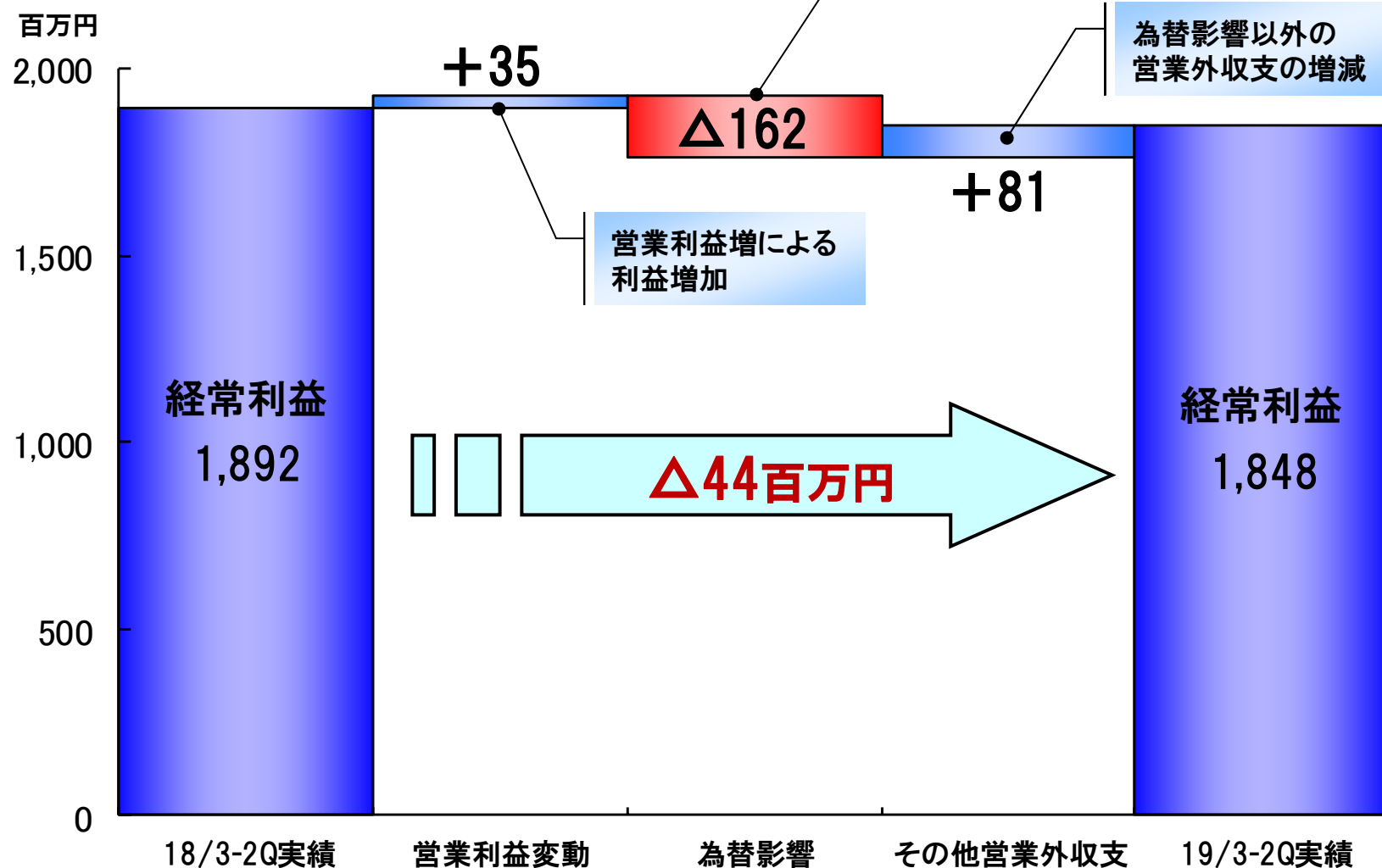


連結経常利益の増減 [2018/3期2Q⇒2019/3期2Q]

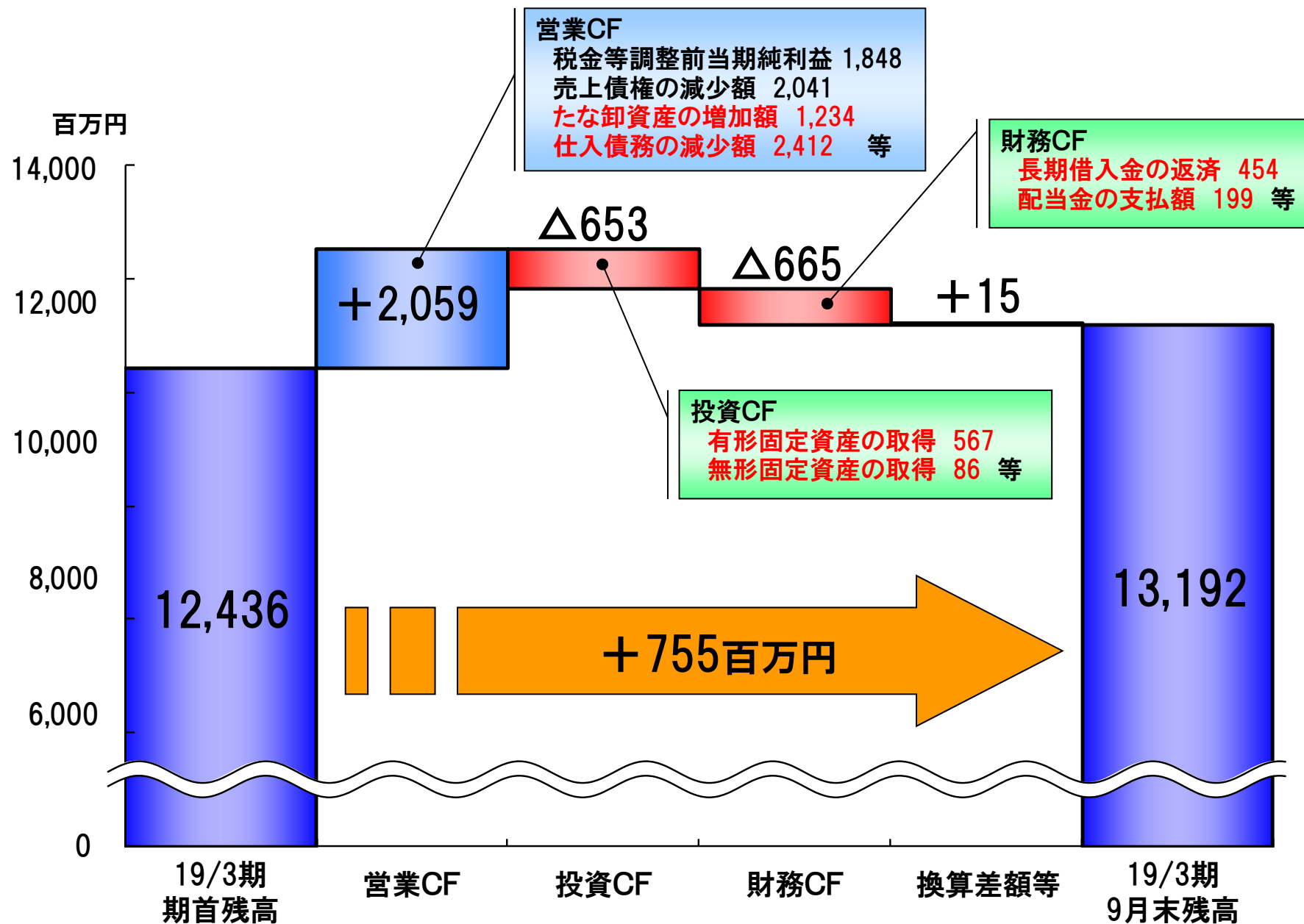
\$円レート: 期初 ¥106.24 ⇒ 9/末 ¥113.57
元円レート: 1/初 ¥17.29 ⇒ 6/末 ¥16.66

18/3期2Q 為替差損 15

19/3期2Q 為替差損 177



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～

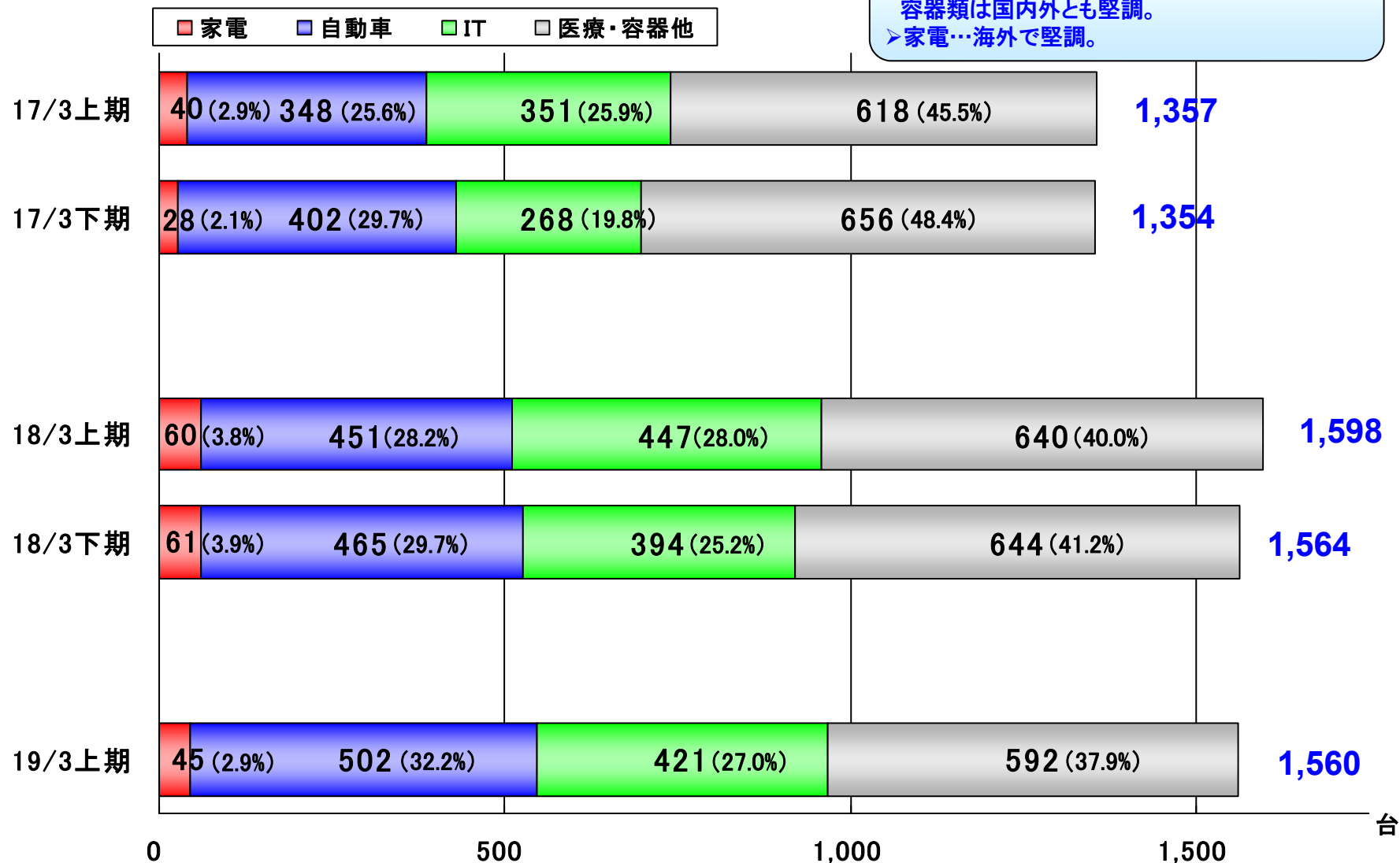


射出成形機の需要先別出荷台数推移(当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2019年3月期 第2四半期

- 自動車…国内・海外とも好調。
- IT…国内横這い、中国減少傾向。
- 医療・容器他…医療機器は国内外とも横ばい、
容器類は国内外とも堅調。
- 家電…海外で堅調。

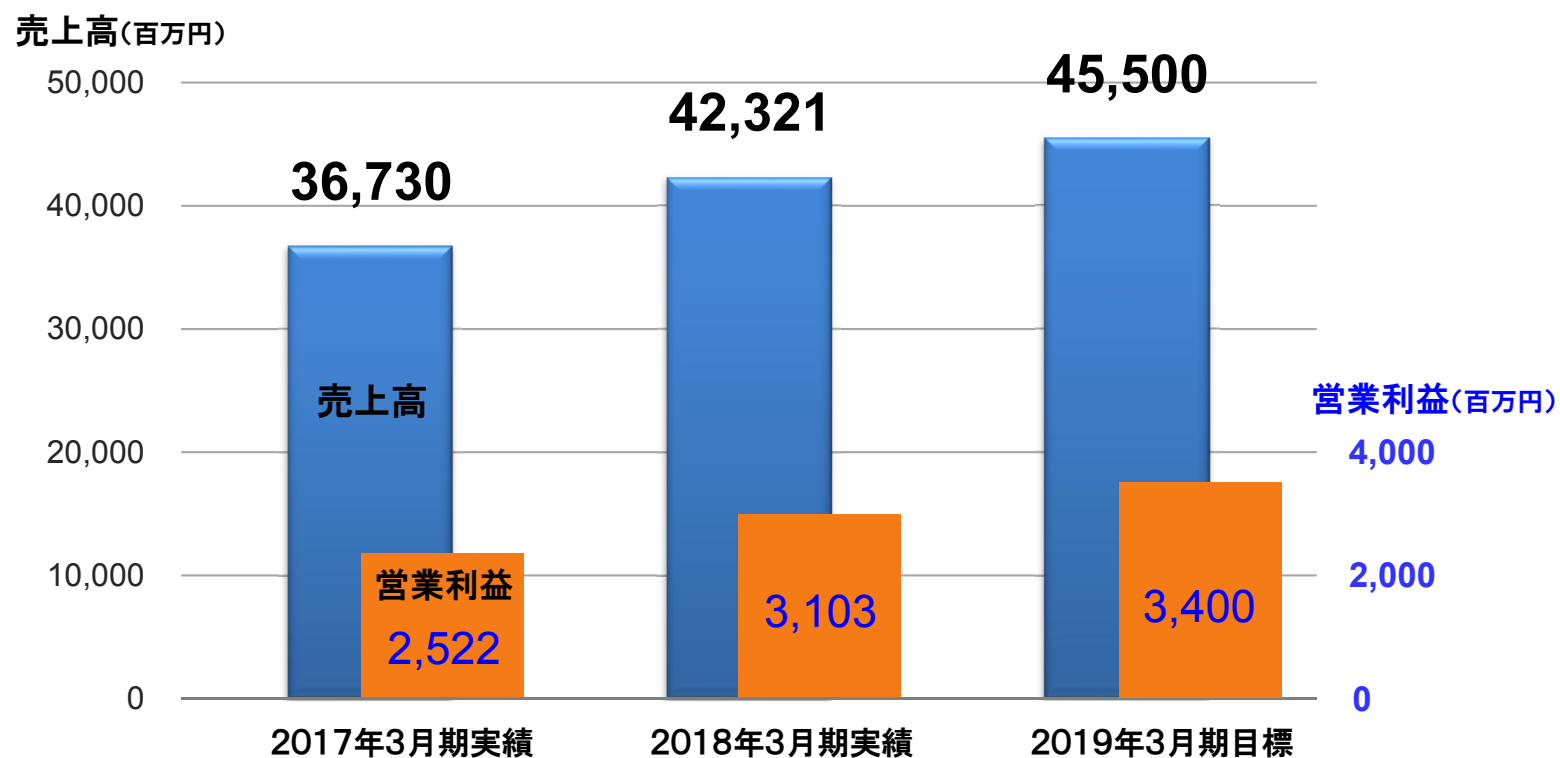


2019年3月期計画について

経営方針

1. **真のグローバル経営の強化**
2. **グローバル市場への積極的展開による
販売増強**
3. **グローバル生産体制の強化**
4. **グローバルリスク管理体制の強化**

中期経営計画 数値目標(売上高・営業利益・売上台数)



販売台数	2017年3月期実績	2018年3月期実績	2019年3月期目標
本社工場	1,763	2,023	2,200
中国(太倉)工場	712	937	1,062
タイ工場	236	301	375
米国工場	—	—	21
合 計	2,711	3,261	3,658

2019年3月期 連結損益計画と2Q実績

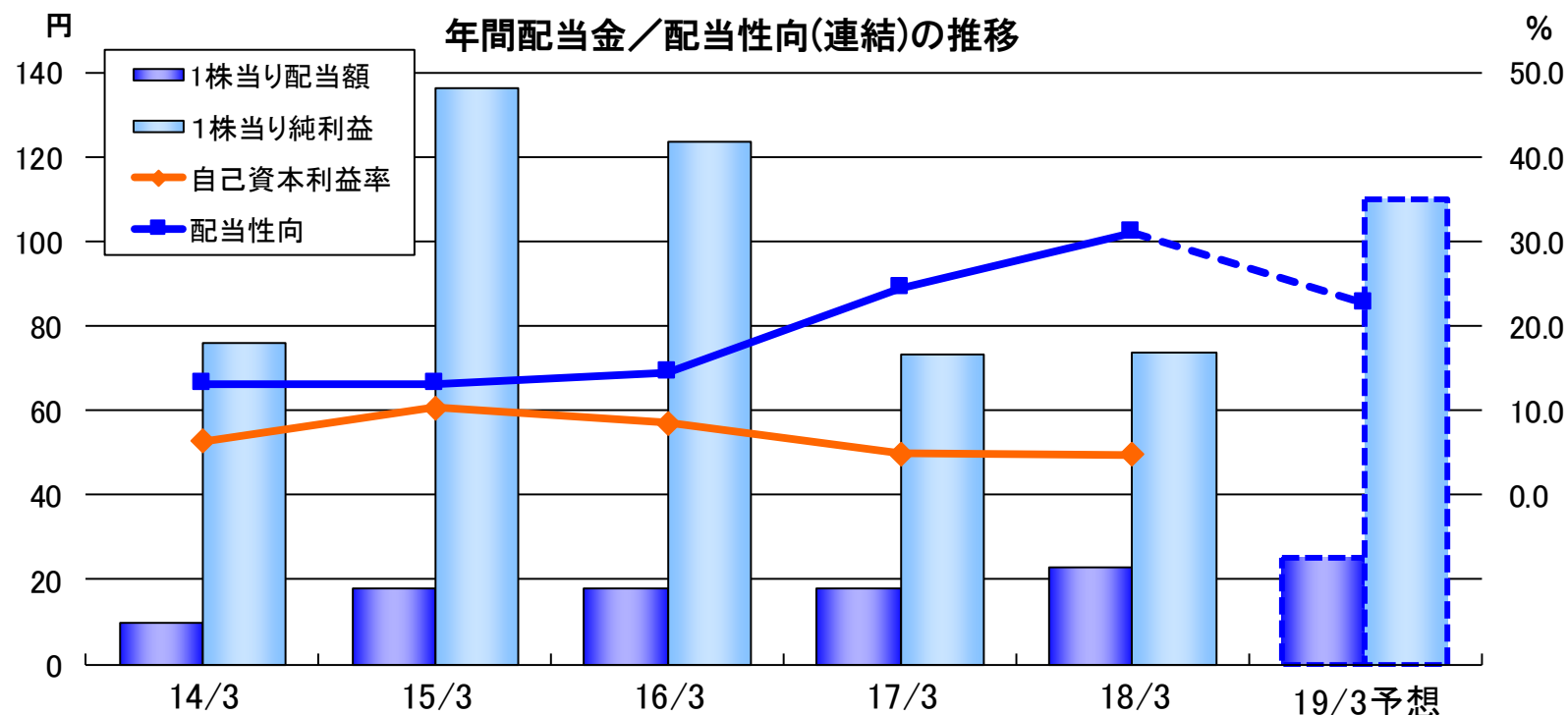


単位：百万円、比率%

	2018/3期 実績	2019/3期 連結計画		2019/3期2Q 連結実績	
		通期	対前期 増減 %	2Q実績	対通期計画 進捗率 %
売 上 高	42,321	45,500	7.5	20,536	45.1
営 業 利 益	3,103	3,400	9.6	1,781	52.4
(利益率)	7.3	7.5	—	8.7	—
経 常 利 益	3,354	3,500	4.3	1,848	52.8
(利益率)	7.9	7.7	—	9.0	—
四半期純利益	1,476	2,200	49.0	1,404	63.9
(利益率)	3.5	4.8	—	6.8	—
販 売 台 数	3,261	3,661	12.3	1,606	43.9
生 産 台 数	3,023	3,658	21.0	1,603	43.8

※販売台数・生産台数とも、タイ現地販売分を含む

・2019年3月期 年間配当は、1株について25.00円(中間10.00円、期末15.00円)を予定。



	2014/3月期	2015/3月期	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期 (予想)
1株当り純利益	76.04円	136.54円	123.77円	73.45円	73.85円	110.07円(予)
1株当り配当額	10.00円	18.00円	18.00円	18.00円	23.00円	25.00円(予)
中間配当	4.00円	5.00円	8.00円	8.00円	13.00円	10.00円
期末配当	6.00円	13.00円	10.00円	10.00円	10.00円	15.00円(予)
配当性向	13.2%	13.2%	14.5%	24.5%	31.1%	22.7%(予)
自己資本利益率	6.4%	10.4%	8.6%	4.9%	4.8%	

トピックス

広島出張所を移転・拡張し、営業所に格上げ



広島営業所 事務所外観

自動車関連メーカーを中心に、日用品・建材・医療機器関連のお客様の工場が集積している広島、山口、島根、愛媛エリアにおける営業・サービス体制の強化を図るため、広島営業所を開設しました。



【西日本ブロック 広島営業所】

所在地：広島県広島市安佐南区川内3丁目5-14-2

電話：082-831-3501

FAX：082-831-3505

業務開始：2018年10月1日

2018.10.1

QC棟建設工事が進展中



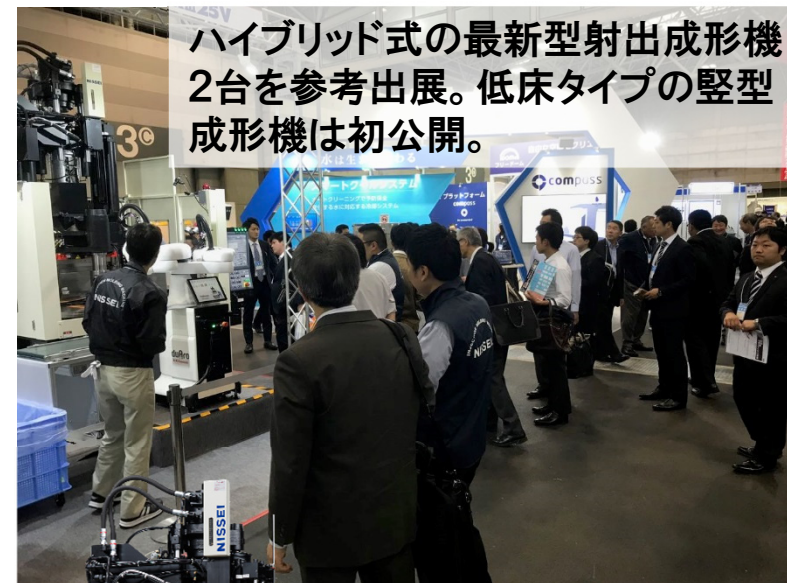
来年1月下旬
竣工予定

今年8月に着工となったQC棟建設工事は順調に建設が進展しています。
なおQC棟は、研究開発センターに次いで2棟目のZEB実証事業に採択されており、省エネ性能の高い建築物として建設が進められています。



2018.11

2018名古屋プラスチック工業展に出展



ハイブリッド式の最新型射出成形機
2台を参考出展。低床タイプの縦型
成形機は初公開。



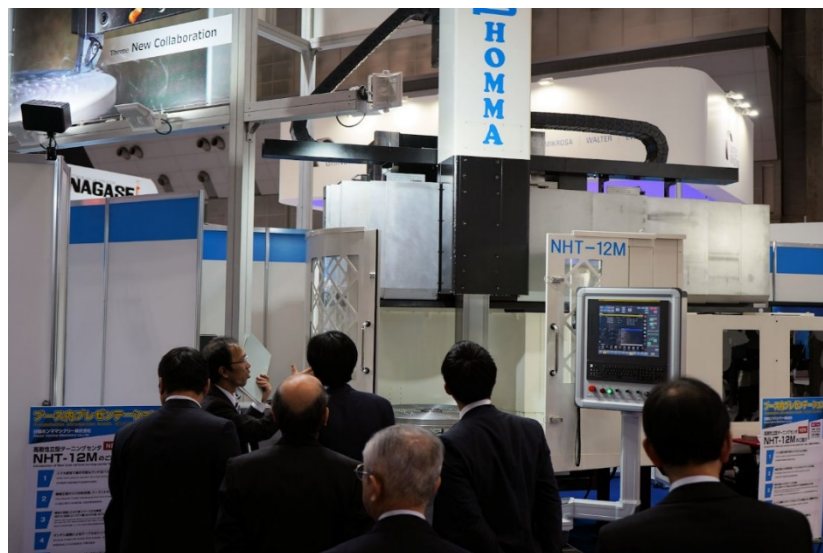
ハイブリッド式横型射出成形機
FNX220IV-50A



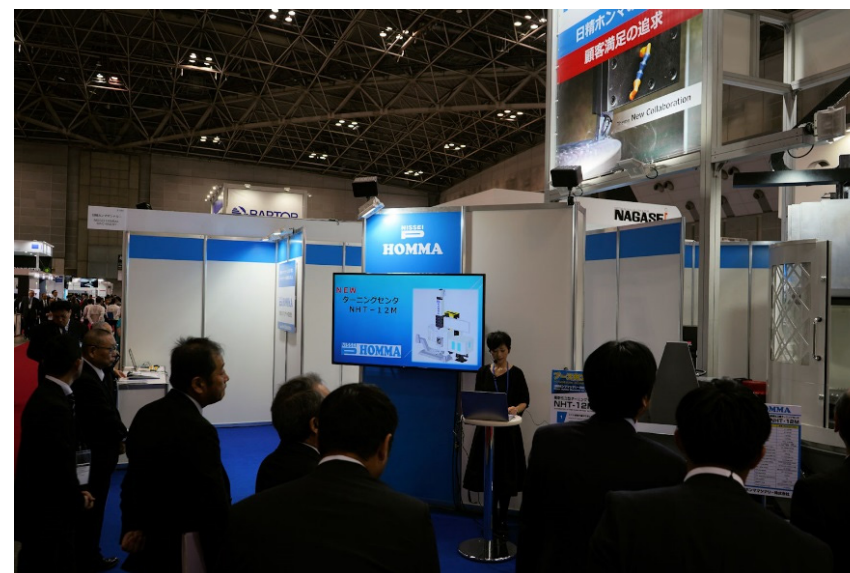
低床タイプ
ハイブリッド式縦型射出成形機
TWX220RⅢ25V

2018.10.31-11.2

日精ホンママシナリーがJIMTOF2018展に出展



日精ホンママシナリーでは、昨年10月の事業承継後、全社一丸となって次代を担う新型ターニングセンタをわずか10ヶ月で開発。世界最大級の工作機械見本市 JIMTOF 展に出展いたしました。



＜＜＜本機は、量産ベースの複合立旋盤で、重切削とミーリングの複合機能、高い寸法精度を持ち合わせ、使いやすさと省スペースを追求した新シリーズです。

2018.11.1-6

東欧に販売現地法人を設立へ

スロバキアをはじめ、チェコ、ハンガリーなどの東欧地域では、自動車関連産業を中心に多くの日系・欧米系企業が工場進出を展開していることから、グローバル戦略の一環として、欧州地域での営業・サービス体制の拡充を目的に、100%出資の現地法人を設立しました。



ベルギーにある、既存の駐在員事務所は、新設の現地法人の支店として改組予定

スロバキアは東欧地域の中心に位置し、周辺国へも自動車での移動が可能

社名: Nissei Europe, s.r.o.

所在地: スロバキア共和国ブラチスラバ市内

資本金: 834,000ユーロ[日本円換算で約1億円](予定)

事業内容: 射出成形機・金型・周辺機器と関連部品の販売およびアフターサービス業務

業務開始日: 2019年1月(予定)

2019.1

SDGs実現に向けて 環境対応とプラスチック

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた世界を良くするための17の目標。
経済・社会・環境の三側面の向上を目指す中で、日精樹脂が主体的に行動できることとは何か、真剣に考えてまいります。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

世界主要国のプラスチック製品に対する規制の動き

国名・団体	規制内容
フランス	2020年～ すべての使い捨てプラ食器・容器類に、生分解性素材50%以上の使用を義務付け(25年には60%以上へ引上げ)
イギリス	使い捨てプラスチック製品の販売を禁止。早ければ2019年から施行。
EU	使い捨てプラスチック包装容器の規制を義務付け、2030年までに全廃へ(マイクロビーズも禁じる方針)。
台湾	2030年までに使い捨てプラスチック製品を前面禁止する方針。
インド	2018年6月 インド第2の州マハラシュトラ州で、使い捨てプラスチック使用禁止の州法が施行。取締り実施。 使い捨てプラスチック禁止の州法はインドの29州のうち少なくとも25州で制定されている。
韓国	1回用品使用規制(容器・食器類・袋等の使い捨てを禁止)
アフリカ各国	25カ国がレジ袋の禁止、有料化などの規制を実施
各国企業	プラスチック容器類を再利用可能な素材に切替え、プラスチック製使い捨てストローの使用中止、など

経営理念 “プラスチックをととして人間社会を豊かにする” そのために日精樹脂が出来ることは何か？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



バイオプラスチックの種類

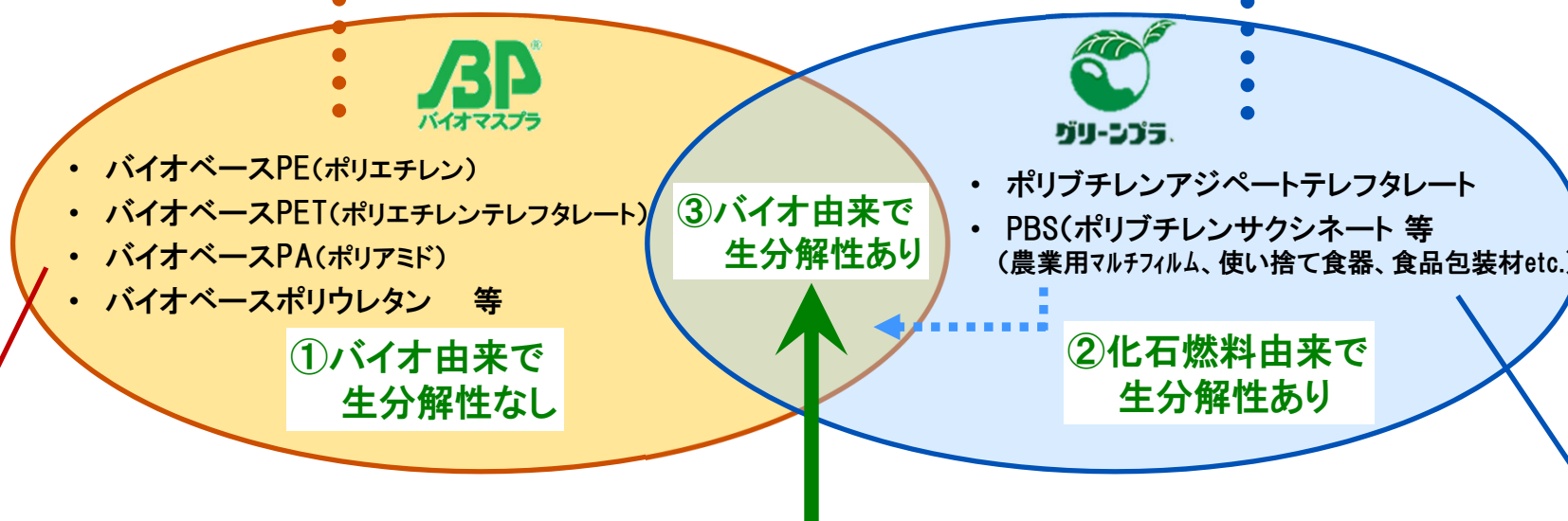
…生物資源(バイオマス)から作られたプラスチック、生分解性を有するプラスチック、または、その両方の特性を備えたプラスチックのこと。

★バイオマスプラスチック

原料として、植物等の再生可能資源であるバイオマスを含み、化学的または生物学的に合成して得られるプラスチック

★生分解性プラスチック(グリーンプラ)

微生物と酵素の働きによって、最終的に水と二酸化炭素にまで分解されるプラスチック



★バイオPE…イオン等が有料レジ袋に採用。

★バイオPET…サントリー、コカ・コーラ等が飲料ボトルに、セブンイレブンがサラダのカップにそれぞれ採用。

・ PLA(ポリ乳酸)
・ PHA(ポリヒドロキシアルカノエート) 等

三菱ケミカルHDIは、生分解性樹脂の原料を、今後すべてバイオマス由来に切替えへ。

日精樹脂工業では、環境にやさしい素材を利用した各種成形法やリサイクル技術を探求し、実用化しています。



NISSEIの環境対応素材へのこれまで取り組み

1993



生分解性樹脂の普及のネックとなっていた材料のコスト高の緩和と分解速度を速めるため、ウォールナットなどのフィラーとのブレンド成形を提案

2009



耐熱成形品用途

耐熱性がない点が普及のネックとなっていたPLA材料に対し、成形技術・材料・金型・成形機・成形加工メーカーのアライアンスにより、耐熱性の付与を実現、用途が拡大

N-PLAjetシステムを開発

2016



薄肉成形品用途

世界各国で使い捨てプラスチック製品の使用規制が強化される中、PLA材料の更なる普及に向けて薄肉容器用の射出成形システムを開発（流動性を改善）

2018



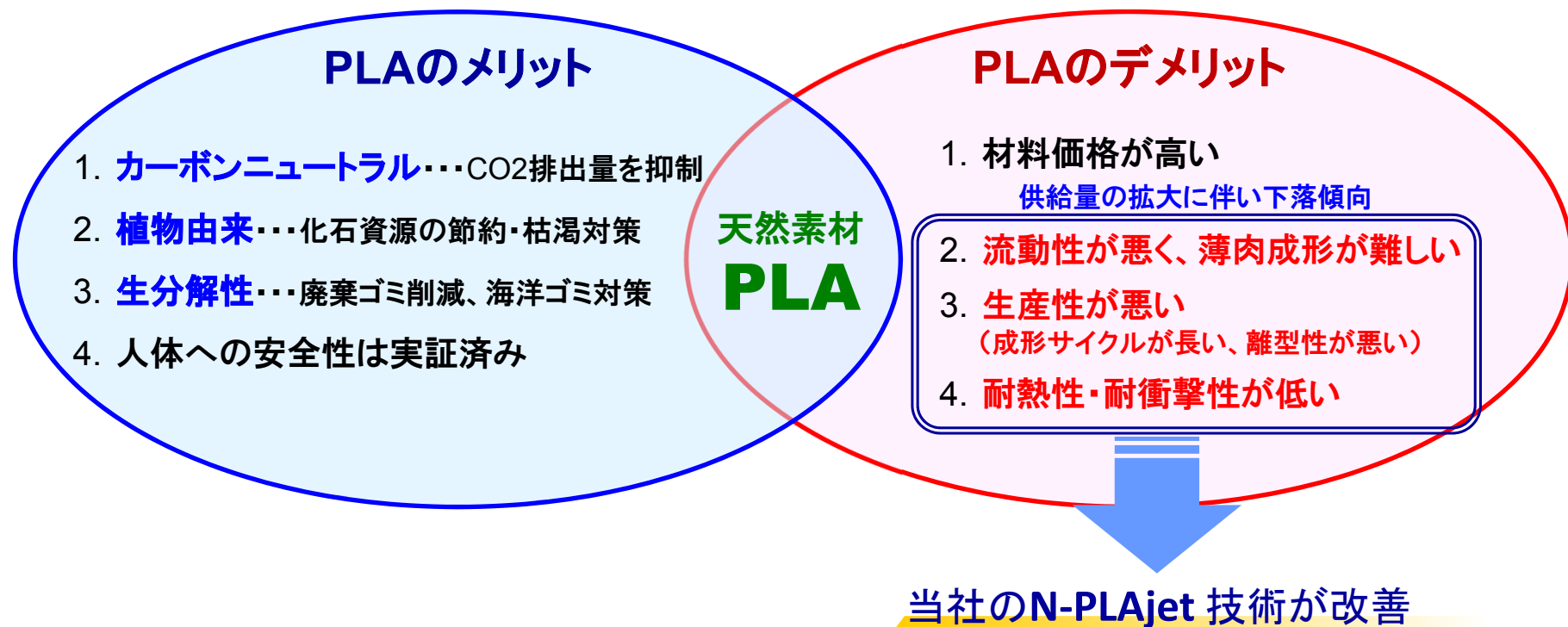
小松技術士が第7回ものづくり日本大賞（内閣総理大臣賞）を受賞

『植物由来生分解性樹脂の世界的普及の端緒となる日本発の射出成形技術群の開発と応用製品』

★ポリ乳酸(PLA)対応射出成形システム **N-PLAjet**

SDGs実現に向けた取組みのひとつとして、植物由来樹脂であるポリ乳酸(PLA)に関する技術開発を推進し、その環境対応素材の普及を目指しています。

ポリ乳酸(PLA)は・・・
「乳酸菌＋でんぷん」を原料とした「植物由来」の「生分解性樹脂」です。





日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
